

# 檜山の研究活動

研修部長 今金町立今金中学校  
校長 萩野 雅彦

## 1. はじめに

檜山校長会は、平成15年度まで「方面別課題研究方式」を志向し、組織的・継続的に研究を推進してきたが、平成16年度より檜山の教育課題解明を主にし、全国・全道の小中学校長会の研究動向を踏まえ、研究主題を設定し、より一層の充実発展を図ってきた。

今年度から研究推進は第4期に入り、第10次4か年研究計画を策定した。新たに評価を含めた総合的研究を推進し、校長の職能向上を目指したい。



## 2. 研究計画（第10次共同研究）

### (1) 研究主題

「ふるさと檜山の地で、自己実現に向けて夢に挑戦する児童生徒の育成」  
～児童生徒に生きる力を育み、地域に信頼される学校づくりの推進～

### (2) 研究主題設定の趣旨

社会が近代化、成熟化する中で、環境問題、社会保障、経済構造の変化、地域間格差など様々な課題が生じている。檜山の地でも、少子高齢化に伴う人口減少、学校数・学級数の減少などが全国・全道を上回る速さで進行しており、将来の経済・社会構造を考えたとき、地域社会に暮らす人々の中には、閉塞感、不安感が広まっている。このような社会の変化は、生活意識や価値基準にも影響を与えている。社会における倫理観の低下、人間関係の希薄化など、子どもたちを取り巻く環境にとって好ましい状況とは言えない。

しかし、こうした状況であるからこそ、これからの社会を担う子どもたちが夢や希望をもち、一人一人の子どもたちが自分の中に潜む可能性を見つけ、その可能性を十分に発揮し、活躍することができる社会を構築していく努力が求められている。

校長には、社会の要請、児童生徒の実態、保護者・地域の願いを踏まえ、ビジョンをもち、指導力を発揮しながら教育活動を推進していくことが求められている。本校長会は、本研究主題の具現のため、学校経営の責任者として、真摯な研究を重ねていきたい。

### (3) 研究方法

研究は4か年計画とし、研究分野を「学校経営」「教育課程」「生徒指導」の3分野として、各町校長会は組織的・継続的な共同研究を推進する。

### (4) 研究課題

- ①第1分野（学校経営）「組織マネジメントを生かした学校経営と校長の在り方」
- ②第2分野（教育課程）「檜山の特色を生かした創意工夫ある教育課程と校長の在り方」

- ③第3分野（生徒指導）「児童生徒理解に基づき学校全体で進める生徒指導と  
校長の在り方」

### 3. 研究活動

#### (1) 檜山校長会教育研究上ノ国大会の概要

①期日 平成25年10月10日（木）・11日（金）

②会場 上ノ国町総合福祉センター「ジョイじょぐら」

##### ◇法制部会

○提言題 「いじめ撲滅へ」

○提言者 厚沢部町立館中学校長 前 田 博 恭

##### ◇小学校部会

○提言題 「個別の指導計画・個別の教育支援計画の活用と  
一貫した指導支援にかかわる校長の取組」

○提言者 奥尻町立青苗小学校長 谷 口 光 伸

##### ◇中学校部会

○提言題 「教職員の意識改革と資質能力の向上を図る学校経営」

○提言者 せたな町立北檜山中学校長 澤 井 正 夫

##### ◇合同部会

○提言題 「創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成・実施」

○提言者 上ノ国町立上ノ国中学校長 塩 崎 弘 明

##### ◇第1分科会

○提言題 「組織の活性化と教職員の資質向上を図る学校経営と校長の在り方」

○提言者 奥尻町立奥尻中学校長 玉 置 英 樹

##### ◇第2分科会

○提言題 「今金町の特色を生かした教育課程と校長の在り方」

○提言者 今金町立今金中学校長 萩 野 雅 彦

##### ◇第3分科会

○提言題 「児童生徒理解に基づき学校全体で進める生徒指導と校長の在り方」

○提言者 厚沢部町立厚沢部中学校長 西 川 良 宏

#### (2) プロジェクト研究

##### ①小学校部会

○研究題「特別支援教育」（H26道小教育研究大会提言発表に向けて）

##### ②中学校部会

○研究題「教育課程」（H26全日中福井大会提言発表に向けて）

### 4. おわりに

現在、檜山管内の学校数は、小学校27校、中学校13校の40校である。各町の過疎化、少子化により、今後も学校の統廃合は進むと考えられる。それに伴い会員数が減少し、各町校長会にとって組織的・継続的な共同研究を進めていくことが厳しい状況になることが予想される。そこで、更に檜山校長会と各町校長会との連携を密にし、研究の基本主題・研究課題の具現化を図るため、研究の視点を踏まえた校長の職能向上と学校経営の改善・充実に資する研究を推進したいと考えている。

また、今年度は、道特協渡島大会で「特別支援教育」、全日中福井大会で「教育課程」の提言発表を行い、檜山の地域性を生かした教育実践を全道・全国へと発信できた。今後も、小規模性、僻地性を強みとして生かすような特色ある檜山の学校教育を目指し、研鑽を続けていく所存である。